

二〇二三年五月一日(参加者二四名)

三線の島唄ゆるり春深し
もとこ

春深し園に散らばる豆画伯
智恵子

しゃぼん玉吹く表情の母似なる
よう子

犬小屋の主いぶかしむしゃぼん玉
なつき

夫と茶を汲みて二人や春深む
更紗

四方の山色濃くなりて春深し
満天

壊し屋は疲れ知らずよしゃぼん玉
なつき

遣りたるCT画像春深し
うつき

春深し母の喃語に耳を寄せ
更紗

二合飯余し二人の春更ける
素秀

しゃぼん玉ぱくつく犬の鼻に爆ぜ
智恵子

春深し欠伸囁みしめ法話聴く
ふさこ

病窓のいびつな空や春深む
たか子

しゃぼん玉垣根を越えて隣より
うつき

ママの留守の子守役なるしゃぼん玉
こすもす

春深むチェロの音朝のラジオより
はく子

幼な手を抜けて空へとシャボン玉
みづき

WEB句会みのる選・二〇二三年五月一日